

法律専門家・戸籍実務担当者に贈る唯一無二の書！ ついにシリーズ完結！！



家事裁判から戸籍まで 事例からみる手続の一体的解説と 書式・記載例 【親権・未成年後見・氏又は名の変更等編】

編著者 **南 敏文**（元京都家庭裁判所長／元東京地方裁判所部総括判事）

著者 **木村三男**（元大津地方法務局長）／**青木 惺**（元千葉地方法務局長）

2022年9月刊 A5判 412頁 定価4,840円（本体4,400円） 978-4-8178-4819-2 商品番号：40915 略号：家戸氏

はしがき（抄）

本巻では、親権、未成年後見、失踪宣告、推定相続人の廃除、父又は母の氏を称する入籍、氏又は名の変更、就籍及び戸籍訂正と多くの分野を扱っています。このうち、親権、未成年後見、失踪宣告、推定相続人の廃除及び氏又は名の変更については、親子関係存否確認、認知、離婚や特別養子縁組等と同じく、基本的に家庭裁判所の裁判により身分関係が形成されたり、解消されることから、同裁判の提起から裁判の結果が戸籍に反映されるまでを解説しています。他方、父又は母の氏を称する入籍、就籍及び戸籍訂正については、戸籍への入籍や戸籍の記載に関して家庭裁判所が後見的に関与し、その許可を得た上で入籍や戸籍の記載をするというものであり、裁判の目的が若干異なることに留意が必要です。

本書で取り扱う分野のうち、後半の父又は母の氏を称する入籍、氏又は名の変更、就籍及び戸籍訂正に関しては、法律の専門家である弁護士の先生方には馴染みの薄い分野である一方、一般市民の方々にとっては、身近な関心事項であり、実際の必要性が高い分野であると思われます。そして、この分野は、裁判と戸籍の実務を知って初めて対処できるものであり、まさに本書の刊行が望まれる分野であるといっても過言ではないと思われます。

目次

第8章 親権関係

- 第1 親権者の指定・変更
- 第2 親権の喪失等
- 第3 親権に関する
その他の事例

第9章 未成年後見

- 第1 未成年後見人等の選任
- 第2 未成年後見人の辞任
及び解任
- 第3 未成年後見に関する
その他の事例

第10章 失踪の宣告

- 第1 失踪宣告
 - 第2 失踪の宣告の取消し
- #### 第11章 推定相続人の廃除
- 第1 推定相続人の廃除
 - 第2 推定相続人の廃除の
取消し

第12章 父又は母の氏を 称する入籍

第13章 氏又は名の変更

- 第1 氏の変更
- 第2 名の変更

第14章 就籍

第15章 戸籍訂正